地域のボランティアスクール
ふ れ あ い
横浜みどりの学校ひまわり
２０２０年６月号　No.４１

こんな学校があってもいいかも

（既存の教育にとらわれない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを揚げて、8年前に開設されました。

「逆境を逆手に」

校長　渡辺正彦

それは、新年が明けて一か月を経ようとする日のことでした。今年も子供たちへの支援の充実を願い、恒例のひまわり親睦会が開催されました。普段会わないボランティアの皆様が集まっての親睦会は、子供支援の意思確認の場でもあります。楽しく、熱く過ごしたあの日、知らぬ間にコロナの恐怖は忍び寄っておりました。 間もなくひまわりは、休校に追い込まれました。

休校中のひまわりは、オンライン活動の他、畑での当番活動、体験活動を細々と継続しました。そんな中でも、教育相談、学校見学、ボランティア希望者の面接が数多く寄せられました。

コロナ感染の不安より我が子の不安に怯える親達、コロナで仕事がリモートになったためにボランティアが可能になった方々など予期せぬ問い合わせが続きました。 オンライン活動という教育手法も活用できるようになりました。学校再開後も、ひまわりにさえも登校できない子供のために、これを機会にひまわりオンラインコースも常設することにしました。

「柔軟」こそが人類の最大の武器です。臨機応変力とリフレーミング的思考こそが、 子供達、保護者達を導く唯一、最良の術です。

ピンチをチャンスに、それは、ひまわりに在籍する社会的少数派の子供達にも適用されることです。現在の困難がやがて昇華する日が必ず来るはずです。ギフテッド教育や、ニューロダイバーシティに証明されるように。

Try コロナ!!　Chance コロナ!!

開校までもう少し時間を要するひまわりでは、イレギュラーな今をチャンスに変えようと様々な活動や新しいプロジェクトが誕生しています。

今回はその中から3つの活動をご紹介します。

① オンライン活動

休校中でも、ひまわりが子供達にとって**自主性や相互理解力の定着、学力の維持、友達との楽しみの共有の場**であって欲しいという思いから、ウェブ会議ツールなどを使い、希望者には***個別学習指導***を行い、また、複数名でオンラインゲームを楽しむ***リフレッシュタイム***の活動も開始しました。

☆オンライン個別学習指導

Ｔさんの場合：
eboard（イーボード）という映像授業とデジタル問題集が組み合わさった教材を使い、週２回ボランティアの先生の指導のもと、一対一で学習を進めています。

曜日と時間を固定したことで、定期的に学習する習慣が身につき、休校中にも関わらず「勉強の時間だから」と一人で早起きできるようになったそうです。

☆リフレッシュタイム　～週２回程度の開催

３～４名でボードゲームなどを楽しんでいます。それぞれが家にいながら、パソコン画面を通じて友達と交流しています。参加は自由なので、久々に友達の声が聞きたいと、ふら～っと遊びにくる子供もいます。
いつでも誰でも大歓迎です！！

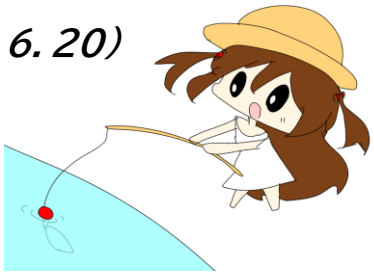
一番人気はボードゲームアリーナの「キングドミノ」という自分の陣地を増やしながら王国を作っていくパズルゲームです。

子供達に人気のマインクラフトのプログラミングにも挑戦しました。他にも、様々な機能を使いお絵かきしりとりや人狼ゲームなども盛り上がっているそうです。

ビオトープ建設プロジェクト

新たな挑戦として、畑に**ビオトープ(水槽)**を作成しています。目標は、池の中で**自然生態系を**作ること。 生態系作りには、土、水草、魚などの生体が必要です。ひまわりの子供と大人が一緒になって、どんな土や水草が良いのかを調べたり、生き物にも相性があることなど学びながらプロジェクトを進めています。

～*生き物観察　梅田川メダカ広場にて*(2020. 6. 20)



梅田川にて、生き物観察・採取イベントを開催！
自然の豊かさに触れることで、ひまわりのビオトープ作りのヒントを得ることができました。

今回獲れたのは、エビ類、メダカ、ヤゴ、ザリガニなどです。各自で観察したり、リリースしたり、家庭へ持ち帰ったりしました。ひまわりには、飼育の負担が少ないタニシと赤ちゃんメダカを 2 匹持ち帰りました。現在はまだ飼育ケースで育てていますが、ビオトープの環境が整えば放してみたいと思います。
子供達の夢中な姿が眩しかったです。

参加者全員で

はいチーズ！

大人も子供も、大冒険。

皆、夢中です！

食育活動　バケツ稲作り体験

　フードバンクかながわさんより、バケツ稲づくりセットをご提供いただき、ポリバケツと土を用意して稲づくり体験を始めました。秋の収穫が楽しみです！
ひまわりが再開したら、フードバンクさんの食材とともに食育イベントを企画したいと思います。

① 種もみが発芽しました

② バケツに土を入れ、発芽した種もみを蒔きました

☆彡お知らせ

7月よりひまわりを再開する予定です。 現在、準備を進めていますので、詳しくはホームページにてご確認ください。

ボランティア募集：（月）～（土）９時半～１６時に学習指導や子供達とのふれあいをしてくださるボランティアさんを募集しております。すべて無償のボランティアです。